

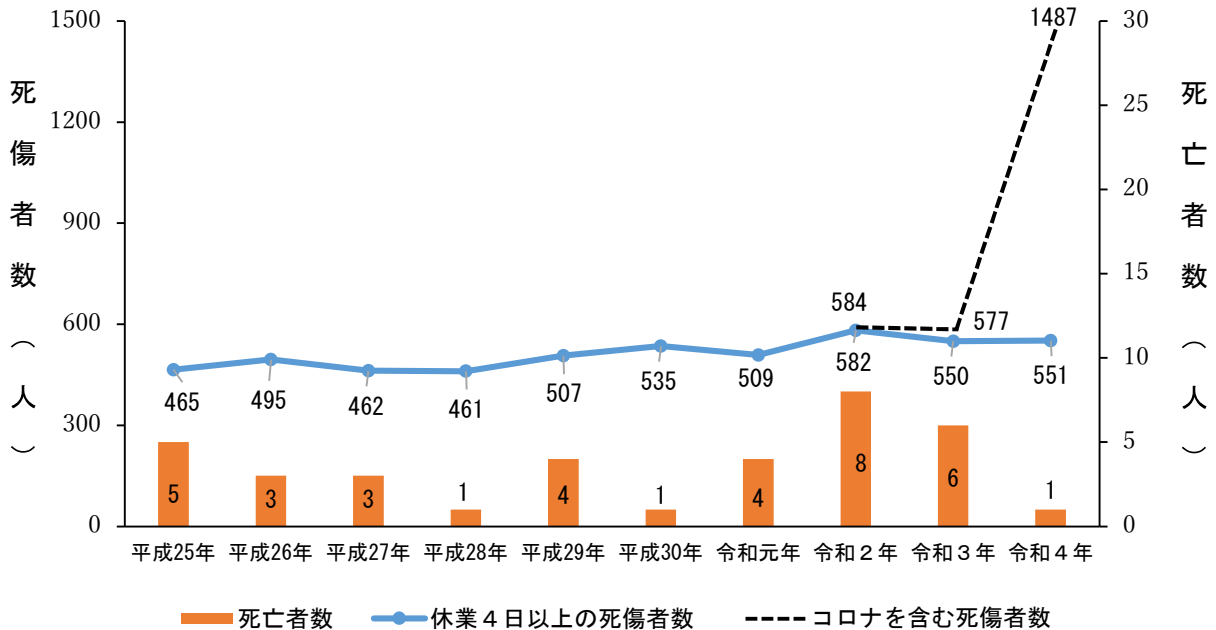
令和 5 年 6 月  
鳥取労働局健康安全課

## 令和 4 年の鳥取県内における労働災害発生状況の概要

### 1 労働災害の推移

令和 4 年の休業 4 日以上の死傷者数（以下、単に「死傷者数」という。）は 1487 人、前年（令和 3 年）に比べて 910 人の増加（前年比+157.7%）となった。死亡者数は 1 人で、前年の 6 人から 5 人減少した。死傷者数のうち新型コロナウイルス感染症によるものは 936 人であり、死傷者数の急増の主因は新型コロナウイルス感染症によるものと認められる。

#### 鳥取県内の労働災害の推移



### 2 死亡災害発生状況

令和 4 年は建設業において死亡災害が 1 人発生した。「墜落・転落」によるものであり、建設業においては、未だに「墜落・転落」による重篤な災害が発生している。

#### 死亡災害一覧（令和 4 年）

番号	発生月 発生時間帯	事故の型 起因物	災害の概要
1	3 月 13 時～14 時	墜落・転落 屋根	倉庫の屋根の補修作業中、スレート屋根を踏み抜き、高さ約 6.5 メートル下の床面に墜落したもの。

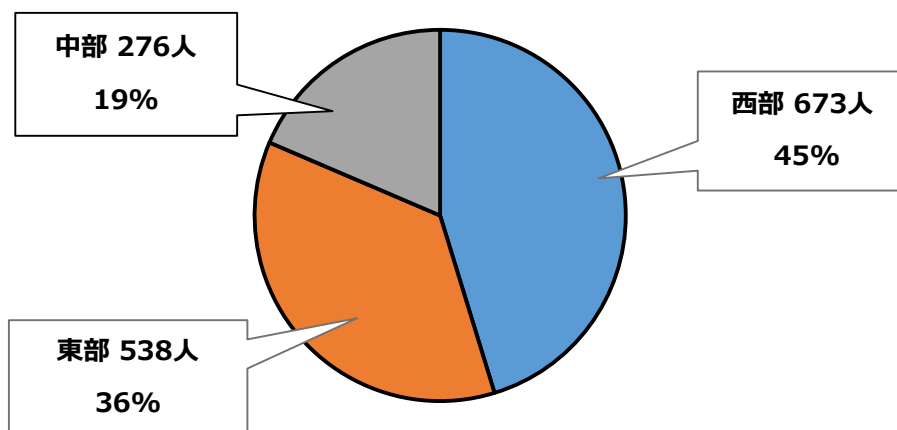
### 3 地区別の労働災害発生状況

死傷者数を地区別にみると、東部地区は 538 人で前年より 352 人増加（前年比+189.2%）、中部地区は 276 人で前年より 160 人増加（前年比+137.9%）、西部地区は 673 人で前年より 398 人増加（前年比+144.7%）した。いずれの

地区も前年よりも急増しているが、主因は新型コロナウイルス感染症によるものである。

地区別の発生割合は、西部地区が県内全体の45%を占める状況にある。

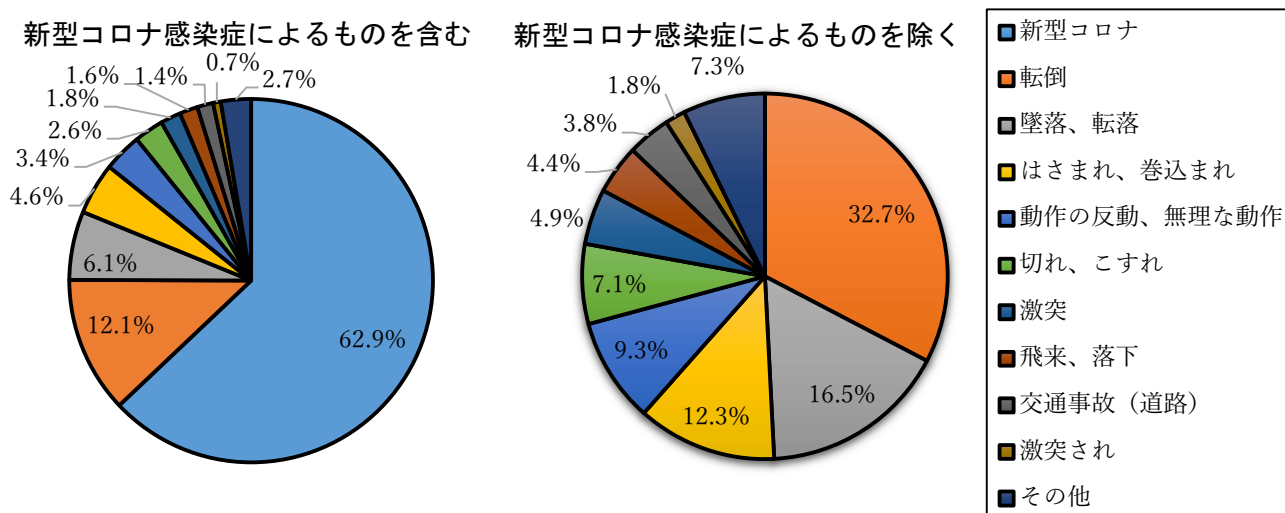
鳥取県内の地区別労働災害発生状況（令和4年）



#### 4 事故の型別の労働災害発生状況

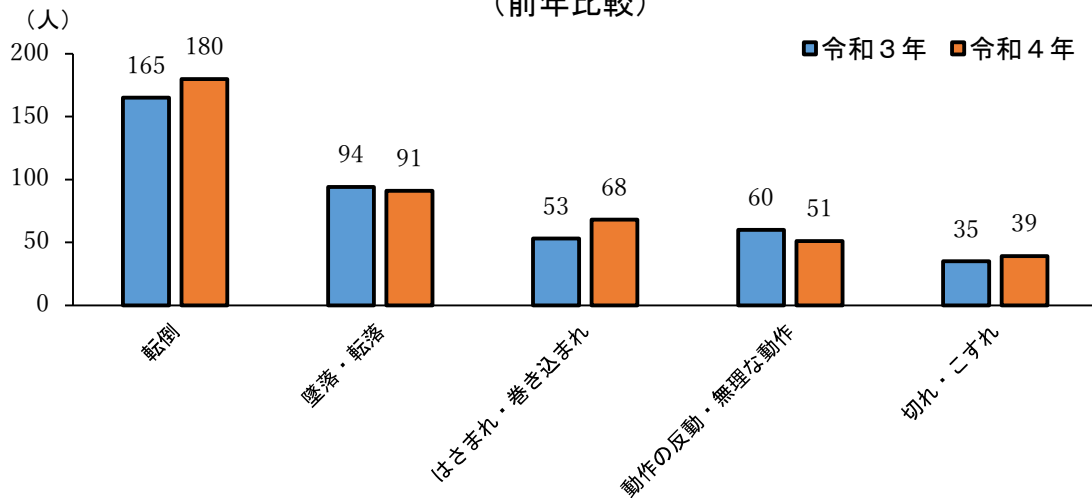
死傷者数を事故の型別で見ると、新型コロナウイルス感染症によるものが936人（全体の62.9%）であり、次いで「転倒」が180人（全体の12.1%）、「墜落・転落」が91人（全体の6.1%）発生している。新型コロナウイルス感染症によるものを除くと、「転倒」及び「墜落・転落」の2つで全体の約半数（49.2%）を占める。

令和4年 事故の型別労働災害発生状況（死傷者数の割合）



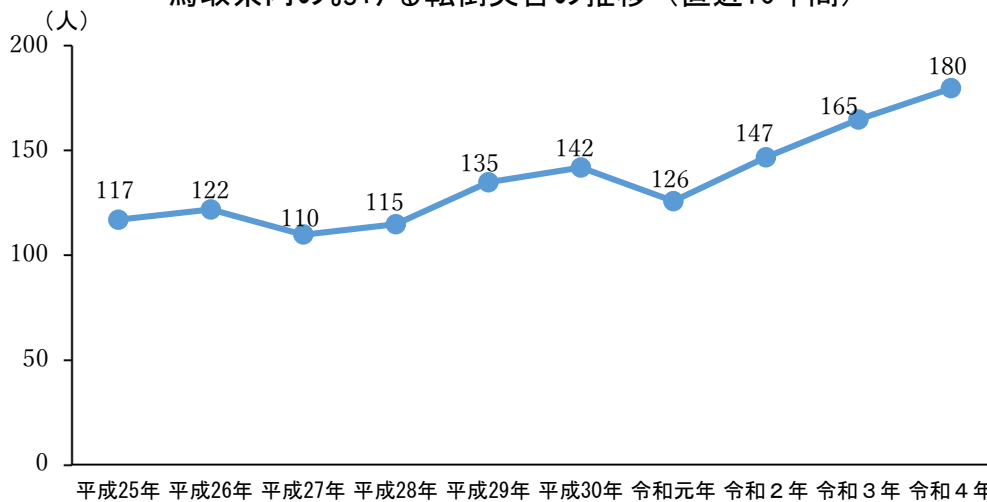
また、事故の型別の上位5件のうち、前年よりも増加したものは、「転倒」及び「はさまれ・巻き込まれ」が各15人、「切れ・こすれ」が4人、それぞれ増加している。

### 鳥取県内における上位5件の事故の型別労働災害発生状況 (前年比較)



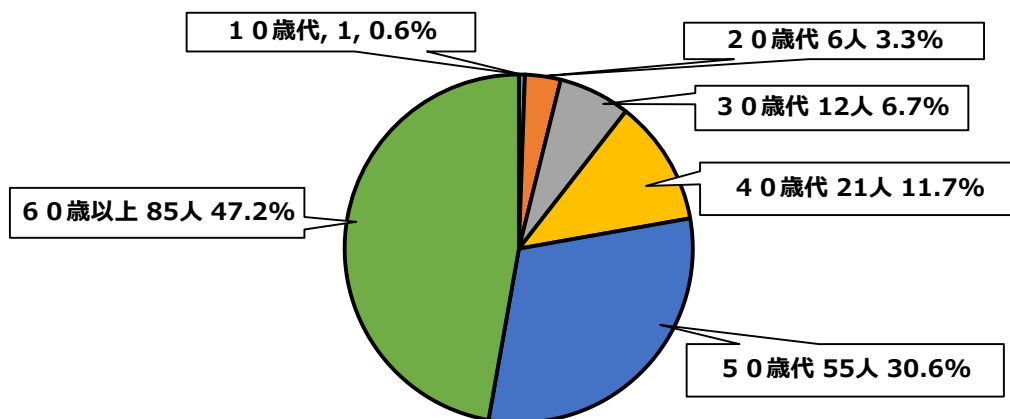
なお、「転倒」災害の発生状況の推移をみると、直近10年間は増加傾向にある。

### 鳥取県内における転倒災害の推移 (直近10年間)



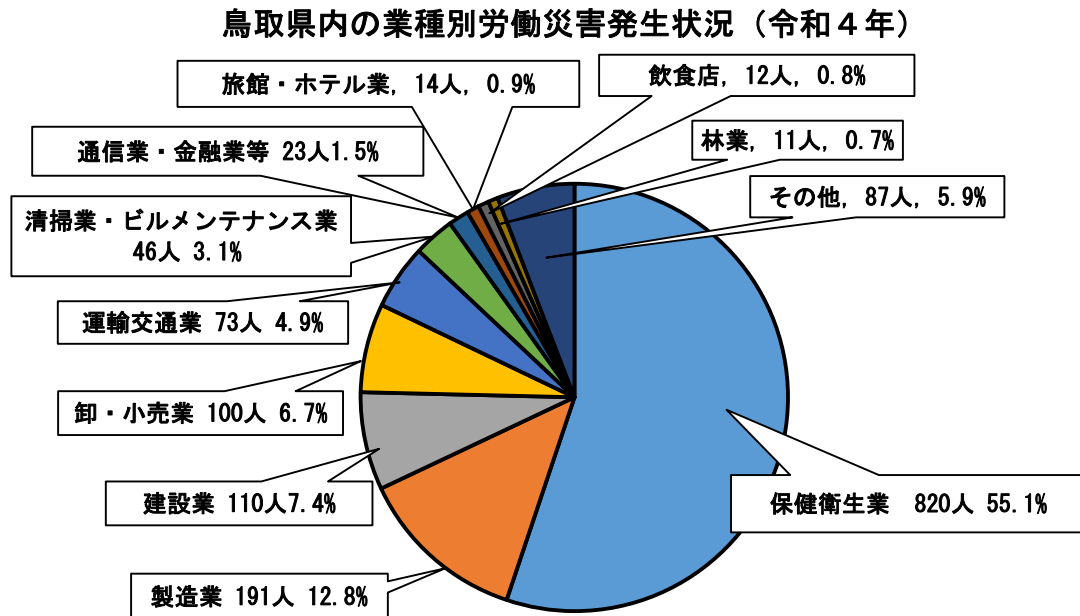
「転倒」災害を年齢別にみると、60歳以上が85人(全体の47.2%)で最も多く、次いで50歳代が55人(全体の30.6%)であり、50歳以上の割合が約8割に上る。

### 鳥取県内の転倒災害の年代別労働災害発生状況 (令和4年)

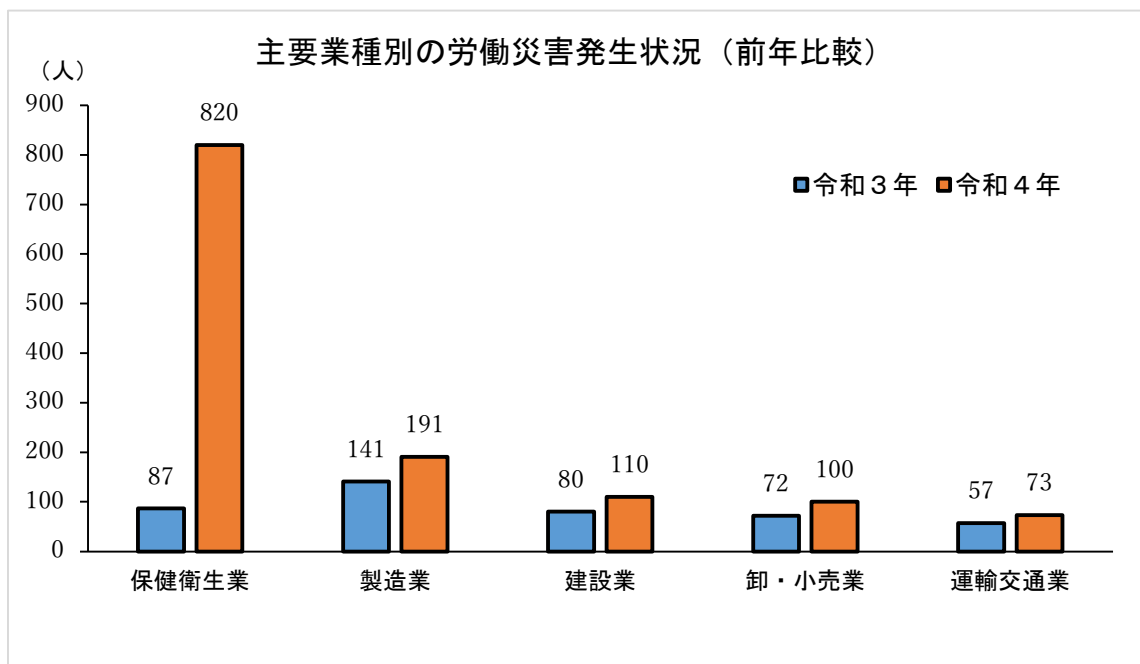


## 5 業種別の労働災害発生状況

死傷者数を業種別にみると、多い順に、保健・衛生業が820人(全体の55.1%)、製造業が191人(全体の12.8%)、建設業が110人(全体の7.4%)となっている。



主要業種（死傷者数の多い順上位5件）における死傷者数を前年と比較すると、いずれも新型コロナウイルス感染症を主因として増加したが、卸・小売業及び運輸交通業は新型コロナウイルス感染症によるものを除いても増加した。



## 6 年齢別の労働災害発生状況

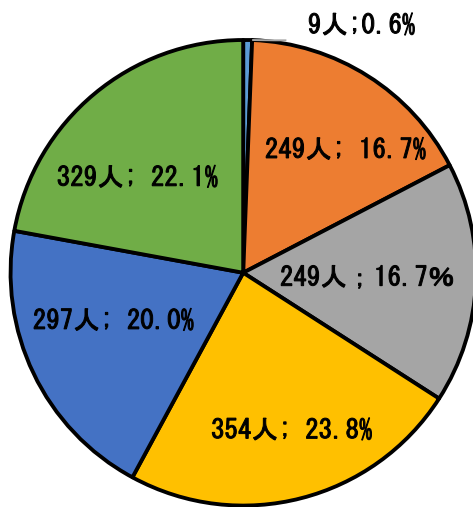
死傷者数を年代別にみると、40歳代が354人(全体の23.8%)と最も多く、

次いで60歳以上が329人(全体の22.1%)、50歳代が297人(全体の20.0%)となっている。50歳以上の死傷者数が全体の約4割(全体の42.1%)に上る。

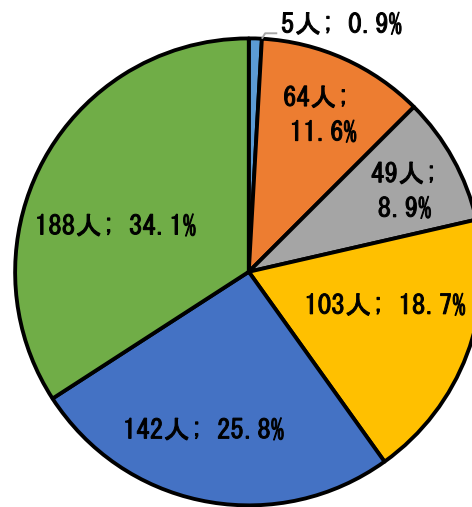
新型コロナウイルス感染症によるものを除くと、60歳以上が188人(全体の34.1%)と最も多く、次いで50歳代が142人(全体の25.8%)となり、50歳以上の割合が全体の約6割(全体の59.9%)に上る。

### 鳥取県内における死傷者の年代別労働災害発生状況(令和4年)

新型コロナウイルス感染症によるものを含む



新型コロナウイルス感染症によるものを除く

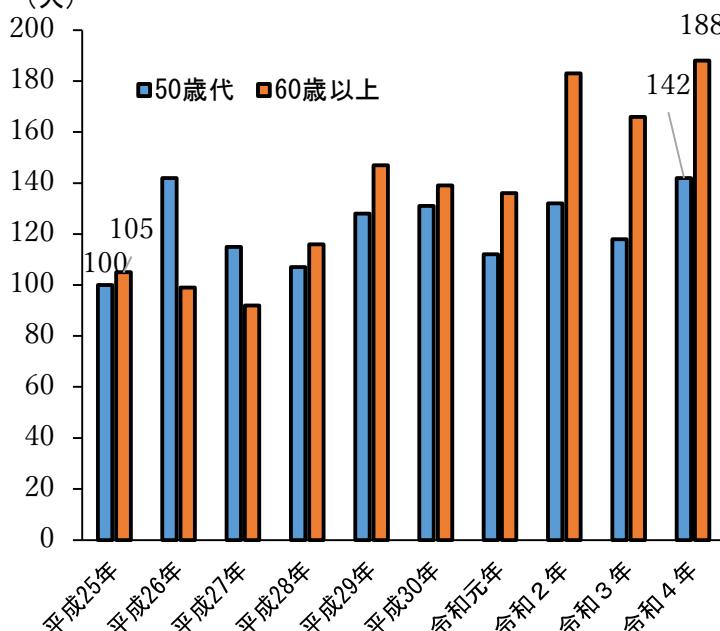


- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代

直近10年間の50歳代及び60歳以上の死傷者数の推移をみると、60歳以上の死傷者数は増加傾向にあり、平成28年以降は50歳代より多くなっている。

### 直近10年間における鳥取県内の50歳代及び60歳以上の死傷数の推移 (新型コロナウイルス感染症によるものを除く。)

50歳代、60歳以上の死傷者数の推移



50歳代、60歳以上の死傷者数割合の推移

